

大船渡市日頃市地区民生児童委員協議会

(平成 26 年 10 月)

1 はじめに

大船渡市は、岩手県沿岸南部に位置しています。当市にある県内最大の港「大船渡港」は、サンマなど全国有数の水揚げを誇る漁港であり、また、国際コンテナ航路を有する物流の拠点となる漁港でしたが、東日本大震災の津波により壊滅的な打撃を受けました。また、死者・行方不明者は 494 名に上りました。

日頃市地区は、港のある市の中心部から見て北西側に位置する中山間地で、海拔 67m ほどの地区です。当地区では、民生委員・児童委員 8 名（うち主任児童委員 2 名）で 13 地区 681 世帯を担当しています。

震災では、津波の被害はありませんでしたが、地震で空き家が倒壊した他、神社、寺院の一部損壊、民家の瓦屋根の落下や土壁にひびが入る等の被害がありました。

震災直後、委員が担当地区の安否確認を行なった結果、在宅の住民全員が無事でしたが、町外に勤務する住民が避難する途中津波により亡くなりました。

震災の支援活動では当地区公民館を中心に、炊き出しや食糧品の提供、その他生活物資の供給等に委員が協力しました。また、みなし仮設住宅への入居や親戚の家に間借りするなどして、当地区に避難した 12 世帯に対し、救援物資の配布活動等も行ないました。

2 現在の活動

市内に応急仮設住宅が整備されたことで、避難元地区の応急仮設住宅に転居した世帯があり、当地区への避難世帯は現在 5 世帯にまで減少していますが、これまでどおり、訪問活動を通じて見守りや傾聴を継続しています。

また、大船渡市社会福祉協議会が実施している津波で流出した写真やアルバムを洗浄し返却する活動に協力し、発見した知人等の写真を本人に届ける手伝いをしています。

3 おわりに

「天災は忘れた頃にやって来る」を教訓に、普段から地区・地域内に組織されている公民館・自主防災等とともに、防災意識を高めることが肝要です。

また、自然災害時の民生委員・児童委員の支援活動、安否確認活動では、まず、自分自身の安全確保を図ることを忘れてはなりません。

震災後は、全国からのご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。感謝を申し上げるとともに、全国の民生委員との「絆」を深めていきたいと思ひます。